

AEON

第17期 報告書

2018.3.1 ~ 2019.2.28

MaxValu



AEON **BIG**



マックスバリュ九州株式会社

証券コード:3171



より信頼される
企業を目指して



- 1 お客さま第一に徹して、お客さまの喜びを私たちの喜びとします。
- 2 お客さまにとって価値ある商品とサービスを提供します。
- 3 信頼される企業市民として地域社会に環境保全・社会貢献活動をしします。
- 4 従業員を尊重し、成果に対して正当な評価をして働き甲斐のある職場の実現をします。
- 5 常に絶えざる革新に挑戦し、高い生産性と収益性を実現します。



マックスバリュ九州株式会社
代表取締役社長

佐々木 勉
Tsutomu Sasaki

◎業績ハイライト

売 上 高	177,499百万円
営 業 利 益	2,408百万円
当 期 純 利 益	1,070百万円

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事業年度における経済環境は、雇用環境の改善等はあるものの、海外経済の減速や貿易摩擦、生活物価の上昇傾向や国内自然災害の発生により、生活者の消費購買意欲については、依然として不安定な状況が続いております。

九州における食品小売業界におきましても、ドラッグストアやディスカウントストアの食品販売進出の拡大や、コンビニエンスストアの出店攻勢等によって、お客さま獲得競争が激化しております。さらに原材料や資材価格の高止まりと人手不足による物流コスト・労働単価の上昇に加え、お客さまの食の安全安心を含めた品質を重視する傾向が強まり続けるなど、当社を取り巻く経営環境はより一層厳しさを増しております。

当社はこのような経営環境のなか、『すべてはお客さまのために』を原点にベストローカルを実現し、

九州におけるスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーになる」というビジョンのもと、社会から求められる存在意義を踏まえ、持続的成長を目指し、更なる生産性向上を推進するため、新規出店及び既存店の活性化を継続実施するとともに、熾烈な競争に打ち勝ちながら成長の原資を確保するための収益構造の改革に取り組んでまいりました。これらの結果、当事業年度の業績は、売上高177,499百万円(前年同期比101.3%)、営業利益2,408百万円(前年同期比112.2%)、経常利益2,431百万円(前年同期比112.0%)、当期純利益1,070百万円(前年同期比118.8%)となり、増収増益となりました。当社は今後も引き続き、お客さまに広くご支持いただける企業を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年5月

九州における経済環境は、地域や業種によってはやや明るさが見えるものの、消費マインドの低下や家計収入の伸び悩み等により、引き続き厳しい経営環境が続くものと考えられます。また、消費者の低価格志向の強まりや、少子高齢化と人口減、都市部への人口回帰によるマーケットの縮小、異業態の食品市場への参入拡大等により、厳しい競争環境はさらに激化するものと考えられます。

このような環境のなか、当社は『すべてはお客さまのために』を原点にベストローカルを実現し、九州におけるスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーになる」というビジョン実現に向けて2013年からの10年間で「飛躍の10年」とし、次の施策に取り組んでまいります。

①熾烈な競争に打ち勝つ企業へ

昨今、小商圈を対象とし業態を超えて専門特化した競合店舗が高速出店し、競争が激化しています。新たな競合環境に適合し、競争に打ち勝つために、2016年3月より「店舗フォーマットの分化と確立」への取り組みを継続して実施しています。

目指す方向性は3つの店舗フォーマットと定義し、

- 1) 小商圈かつコンビニエンス性を重視した都市型エクスプレスフォーマット
- 2) 圧倒的地域一番店を目指すライフスタイル提案型フォーマット
- 3) 低価格で広域商圈から集客し、生鮮食品を中心とし、より価格競争力を強化した新しいザ・ビッグフォーマットとし、地域のお客さまニーズの変化に対応し、地域シェアを高めるため新規出店並びに既存店の活性化を積極的に取り組んでまいります。

また、価値を伴う「安さ」を実現するため、価値ある商品の開発や調達強化、並びに物流コストの低減を図り、品質レベルを向上しつつ、リーズナブルな価格でお客さまにご提供できる体制づくりに取り組んでまいります。

さらに、社会環境の変化に呼応して、オーガニック、ナチュラル、ウエルネス商品の品揃え拡充を図ってまいります。



オーガニック

ナチュラル

ウエルネス

②持続的成長を実現する企業体質の改革

慢性的な人材確保難や賃金の上昇による労務費用の増大が続いており、店舗オペレーションコストは年々上昇傾向となっています。そのような厳しい環境で持続的成長を実現するため、生産性向上を図るとともに、ローコストオペレーション確立に向けて取り組んでまいります。

宮崎・鹿児島地区で実施しているチーム運営のブラッシュアップ及び拡大や、個店ごとの経営状況や人時状況を勘案して、営業時間の最適化の検討を行うことで、店舗の効率化、収益性向上に取り組んでまいります。

③生きがい・やりがいの持てる働き方改革

当社の成長を支える人材の採用・育成を推進するとともに、誰もが働きやすく、活躍できる会社を実現するために教育やダイバーシティ視点での働き方改革を積極的に推進してまいります。

新卒者の採用・教育を引き続き継続するとともに、優れた専門的能力を持つ人材の中途採用も積極的に行います。地域を知り尽くした従業員を育成して戦力化するため、職務別教育、キャリア開発教育、国内・海外研修を実施してまいります。

また、ダイバーシティ活動チームを中心に、職場環境の改善や対策を提案し、多様化する従業員が生き生きと能力を最大限発揮できる職場環境や公正な評価ができる人事制度の構築に取り組んでまいります。

都市型エクスプレスフォーマット



ライフスタイル提案型フォーマット



ザ・ビッグフォーマット



環境保全・社会貢献活動の状況

当社は、環境保全や社会貢献に事業活動の一環として取り組むことが地域に根ざした小売業の使命であると認識しております。
当事業年度は次の活動を進めてまいりました。

① ISO14001の基準に基づく環境保全活動の実施

次の内部監査員の養成、店舗におけるISO活動のスキルアップを目的としたISO14001内部監査員養成セミナーに6名が受講し、全員修了いたしました。



② 植樹活動の実施

当事業年度は新店やイオン環境財団との共催により、地域のお客さまとともに植樹しました。※共催の植樹は当社にはカウントされません。
*マックスバリュ木花台店 230本
*宮崎県綾町 イオンの森づくり 1,000本
*大分県竹田市植樹 9,000本



③ トレー、牛乳パック及び空き缶のリサイクル運動、買物袋持参運動並びにマイバスケット運動の実施

北九州市と「食品ロス及びレジ袋削減に向けた取り組み」に関する協定を締結し、2018年6月1日より、北九州市内9店舗において食品レジ袋無料配布中止の取り組みを開始いたしました。



④ 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」活動の実施

福祉の増進、環境保全、環境学習、文化・芸術の振興などの分野で活躍する団体へ14,396千円の助成を実施いたしました。



⑤ 「被災地を支援する黄色いレシートキャンペーン」の実施

「被災地を支援する黄色いレシートキャンペーン」では、ご厚意いただいたお買い上げレシート合計額の1%を寄付いたしました。



- *「東北・熊本応援 黄色いレシートキャンペーン」
(2018年3月9日～3月11日)
- *「東日本大震災ふくしま子ども寄付金」
1,441,431円
- *「ふるさとくまもとづくり応援」
3,363,339円

⑥ エコキャップ活動の実施

ペットボトルキャップの回収を57店舗で実施し、その収益金380千円を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」へ寄付いたしました。



⑦ 各種募金活動の実施

当事業年度も募金活動を積極的に実施し、お客さまから総額で29,284千円の募金をお預かりいたしました。お預かりしました募金は、経費を差し引くことなく全額を指定口座へお振込みいたしました。



店舗情報

◎2018年度新規出店店舗のご案内



宮崎県 マックスバリュ木花台店

2018年
3月8日
オープン



熊本県 マックスバリュみずき台店

2018年
8月2日
オープン



福岡県 マックスバリュエクスプレス大濠店

2018年
9月6日
オープン



長崎県 マックスバリュ南長崎店

2018年
11月23日
オープン



福岡県 マックスバリュ香椎店

2018年
11月30日
オープン



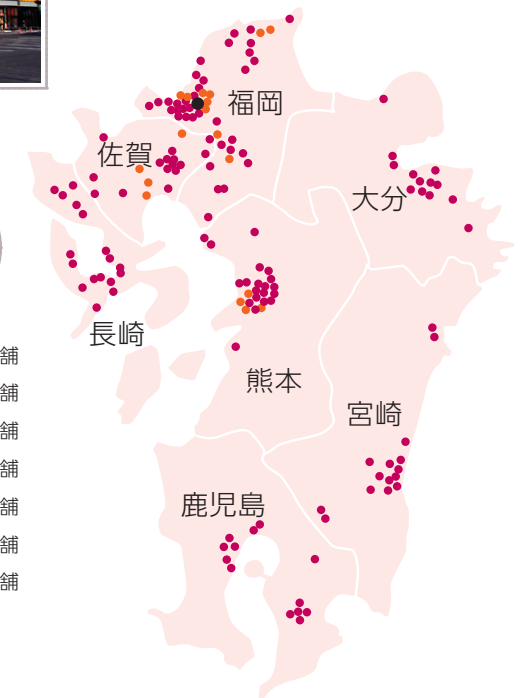
熊本県 マックスバリュ神水店

2018年
12月20日
オープン

全
156
店舗

- | | | |
|------|----|----|
| 福岡県 | 55 | 店舗 |
| 佐賀県 | 19 | 店舗 |
| 長崎県 | 17 | 店舗 |
| 熊本県 | 24 | 店舗 |
| 大分県 | 13 | 店舗 |
| 宮崎県 | 15 | 店舗 |
| 鹿児島県 | 13 | 店舗 |

2019年2月28日現在
●=本社 ●=店舗
●=店舗(ザ・ビッグ)



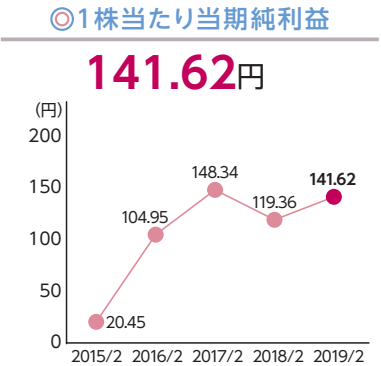
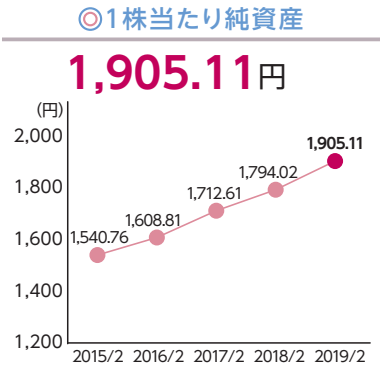
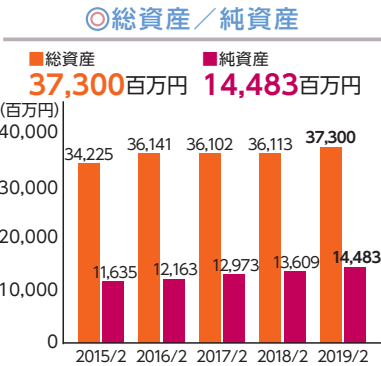
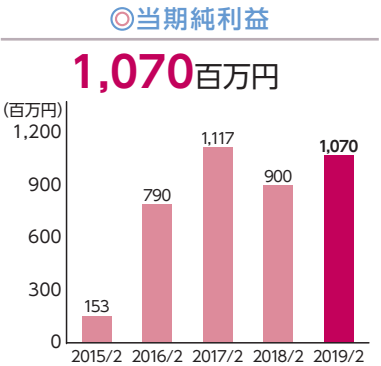
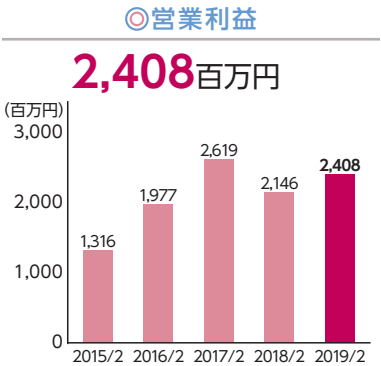
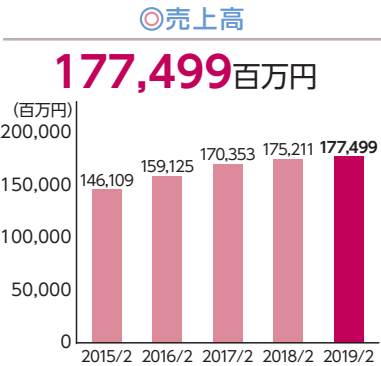
◎営業の概要

営業面の取り組みとしては、既存店を活性化して収益力の改善を図るため、マックスバリュ門司西店(福岡県北九州市)やマックスバリュ空港通り店(長崎県大村市)をはじめとする15店舗の活性化(改装)を行うとともに、3店舗において陳列商品の大幅入替を実施いたしました。「ライフスタイル提案型」のマックスバリュモデルの活性化実績を基にして、お客さまニーズの変化への対応を図り、商品構成や品揃えの見直しを実施するとともに、商品在庫の効率化による生鮮食料品の鮮度アップや商品値下げ、商品廃棄の削減による荒利率改善に取り組みました。また、店内作業の絞り込みによる総労働時間の効率化等により、生産性の向上に取り組みました。

また、2018年8月末に旬鮮工房(福岡水産パックセンター)を開設し、福岡都市部の小型6店舗へお刺身やお寿司、切り身等の商品供給を行い、品揃えの標準化・差別化・鮮度の向上を図るとともに、店内

作業の軽減や人時不足を解消し、ローコストオペレーション及び店舗収益力の向上に取り組みました。

販売費及び一般管理費につきましては、慢性的な人材確保難や賃金の上昇による労務費用の増加、海外経済の動向や円安の影響による輸入商品・資材コストの増加や、原油価格上昇による水道光熱費の高騰及び新規出店や既存店舗の活性化によるイニシャルコストの増加等がありました。WAONカードによる顧客分析システムの活用によるお客さま情報分析や商圈分析を行い、より効率的な販売促進を図るとともに、総労働時間の削減に向けた商品自動発注システムの対象部門拡大による発注作業の効率化や人時不足に対応したお支払セミセルフレジの導入を促進し、働き方を変える施策を並行して実行したことにより、コストの増加抑制に取り組みました。



※2015年2月期及び2016年2月期は連結決算です。

◎貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2019年2月28日現在)	前 期 (2018年2月28日現在)
◎資産の部		
流動資産	17,203	16,245
固定資産	20,096	19,867
有形固定資産	13,085	13,169
無形固定資産	80	27
投資その他の資産	6,931	6,670
資産合計	37,300	36,113
◎負債の部		
流動負債	20,684	20,132
固定負債	2,132	2,371
負債合計	22,816	22,503
◎純資産の部		
株主資本	14,206	13,347
資本金	1,612	1,604
資本剰余金	1,457	1,449
利益剰余金	11,137	10,293
自己株式	—	—
評価・換算差額等	204	200
新株予約権	71	61
純資産合計	14,483	13,609
負債・純資産合計	37,300	36,113

◎損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2018年3月1日～ 2019年2月28日)	前 期 (2017年3月1日～ 2018年2月28日)
売上高	177,499	175,211
売上原価	135,135	133,921
売上総利益	42,364	41,289
その他の営業収入	2,211	2,095
営業総利益	44,575	43,385
販売費及び一般管理費	42,166	41,238
営業利益	2,408	2,146
営業外収益	56	64
営業外費用	32	40
経常利益	2,431	2,170
特別利益	11	—
特別損失	689	832
税引前当期純利益	1,753	1,337
法人税、住民税及び事業税	870	622
法人税等調整額	△187	△185
当期純利益	1,070	900

◎キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2018年3月1日～ 2019年2月28日)	前 期 (2017年3月1日～ 2018年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,863	3,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,853	△1,392
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711	△927
現金及び現金同等物の増減額	1,298	872
現金及び現金同等物の期首残高	7,426	6,554
現金及び現金同等物の期末残高	8,724	7,426

当社は、株主の皆さまに対する利益の還元を経営上の重要な施策と位置づけており、事業規模の拡大と経営の効率化によって企業価値を高めるために必要な内部留保資金を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としております。

また、内部留保金につきましては、店舗の新設及び改装、システム投資並びに人材育成のための教育投資等に活用し、事業基盤の強化とさらなる業容の拡大につなげてまいります。

なお、当事業年度の配当金につきましては、1株につき30円の普通配当とすることを決議し、1株当たり30円とさせていただきました。

2019年2月期

1株当たり配当金30円

配当性向21.2%

株主優待

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主さまに対し、右記のいずれかを贈呈いたします。

ただし、記載の②③の地域特産品は2018年に贈呈した商品であり、2019年は変更になる場合がございます。

区分	①株主さまご優待券	②寒製島原手延べ素麺	③調味料ギフトセット
100株 ～ 999株			
1,000株 ～ 1,999株			
2,000株 以上			

◎会社概要 (2019年2月28日現在)

会 社 名	マックスバリュ九州株式会社
設 立	2002年3月
資 本 金	1,612百万円
本店所在地	福岡市博多区大井二丁目3番1号
従 業 員	社員1,488名、フレックス社員他6,114名 (ただし1日8時間換算による)
店 舗 数	156店舗
主要な事業内容	食料品及び日用雑貨品等の小売販売及び テナントに対する不動産賃貸業等

◎役員 (2019年5月24日現在)

代表取締役社長	佐々木 勉
取締役執行役員	田 中 實
取締役執行役員	南 谷 和 彦
社外取締役	青 木 孝 一
社外取締役	林 田 ス マ
常勤監査役	宮 崎 雅 典
社外監査役	古 賀 和 孝
社外監査役	久 家 基 裕

◎株式の状況 (2019年2月28日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	7,564,648株
株 主 数	5,897名

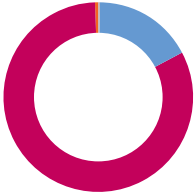
◎大株主 (2019年2月28日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	5,815	76.87
マックスバリュ九州従業員持株会	147	1.95
マックスバリュ九州共栄会	137	1.81
横尾由佳	49	0.65
株式会社エーブル	39	0.51
山本スミ	37	0.49
ミニストップ株式会社	32	0.43
マックスバリュ西日本株式会社	30	0.39
加藤産業株式会社	30	0.39
三菱食品株式会社	30	0.39

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

◎所有者別株式分布状況

金融機関	9千株	0.12%
個人	1,294千株	17.11%
国内法人	6,221千株	82.42%
外国法人	37千株	0.49%



◎株主メモ

上 場 市 場	東京証券取引所JASDAQ市場
上 場 日	2012年2月22日
証 券 コ ー ド	3171
事 業 年 度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定 時 株 主 総 会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
株 主 確 定 基 準 日	毎年2月末日
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日／毎年8月末日
株式の売買単位	100株
公 告 掲 載 方 法	電子公告とする。ただし、事故その他やむをえない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。
電子公告掲載URL	http://www.mv-kyushu.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各 種 事 務 手 続 き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 https://www.tr.mufig.jp/daikou/

株式に関する 『マイナンバー制度』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求等株式の譲渡取引に関する支払調書

お手続きやご相談は、左記連絡先までご連絡ください。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **3171**

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjw.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

(1809)